のような情勢を考えて見ま

70年代の国民は、

を取付けてはおりますが、

未だ完璧なものとはい

い難|並びに需要家の皆様に於

ます。何卒代理店の各位

れてしまった。

ってのご念の入ったお祓 ご子息をお伴にお連れ下さ

ばならないと思っており

かれましては、この上共

るから、

上棟式は出来るだ

お互にいそがしい躰であ

層のご愛顧とご支援を

け簡素に、内輪だけの儀式

にしたいとの社長の意向で

本機には特殊な防音カバー

ンジンにはサイレンサーを ご期待にお応えしなけれ

木さんや江田さんを求めて

いるのではなく、

もっとも

いのであります。

要は更に

やっぱり古い殻を打破るこ

思っていましたが、これも 絶好な転換期ではない

えております。そこで、 その責を分担すべきだと考

3

の殻を破った斬新的な販 共に営業面に於ても従来

しづめわが社としては、エ

素ご贔屓下さる皆様方の 売計画を打ち樹てて、平

来られるのを、特に今回

日の上棟を待ちわびておら

工場建設ということで、

れたとか、何時もお一人で

かと

とは出来ませんでした。こ

つ今の社会党にとっては、 者がおられて、不信をかこ も江田さんというしっかり

なく、

その作業に使用され

く生産の合理化を計ると

加え以って倍増計画に基

林工場とは、

のお馴染で、

今回は特に新

工場創設以来

をしのぐものがあった。

くしゃくとして、 るにもかかわらず、 八十一才のご高齢であられ

今尚壮者 洵に

工者のみが負うべき責任で しかしこの問題は、

人施 各製品部門毎に再検討を

のこの一大転機を捉えて そこでこのたびのわが社 ではないかと思います。

る機械メーカーも又等しく

りませんでした。

又社会党

仲々その殻は破れそうもあ と訴えておられましたが、

ているわけでございます。

しばしば非難の声を耳にし

代は世界の転換期であるか 内閣の使命は終った。70年木さんに言わせると、佐藤

従来の殻を破るべきだ

近住民の安眠をさまたげ、 ん高い連続的な騒音は、附の夜間作業の場合、そのか 業は、昼間は兎も角、

藤さんのライバルだった三 戻したように見えます。佐 やらこのところ落着きを取

で参りました。ご承知のよ

度からこれと真剣に取組ん

うに建設機械による現場作

町中て、

て、皆様のお仕事にマッ

しては、現在発売してい

れよりも先づ、

い製品とすることが先決

委員長が再選されて、どう

の問題を考え、 して、 設機械に就て、

取り上げられる騒音

将来公害と

品の一つ位いは開発しな 味に於いて、せめて新製

ばならないと考えて

しかし、 わが社と

そ

あらゆる角はおります。

っと若くてピチピチした生

進んで騒音発生部を電磁方

きの良い若武者の出を待っ

式又は油圧方式等に切り換|賜りますよう伏して懇願

いるの

ませ

このところ停滞気味のよう けて、さしもの大型景気も は金融引締政策の影響をう ことになりました。経済界

でございます。

ところが賃

をたどって

いるのは何か、

金と物価はお互いに牽制し

依然として上昇線

おろしたわけでござい たので漸く安堵の胸を撫で

ŧ

しては、

待望の館林新工

事

新工場

進む

まだまだ景気の方が上廻っ

いるような気が致しま

ら現在つくっております建

わが社に於ても、

早くか思っております。

この意

館林

設

生まれかわる年であると 場の落成により新らしく

政界は佐藤さんの四選

社会党も又成田

SANGYO

ともいうべき70 71 年 三笠産業株式会社 取締役社長 年代のスタ を 迎 え

7

対決してゆかなければなら 公害問題がクローズアップ う人間のすべてが、 これと トの年だけあって、俄然|を取入れた三笠製品を市 昨年は世紀の一大転換期|ではないかと思っており 今や世界の人間とい って、 ます。既に一部油圧方式 若干性能面に劣る点もあ 査を致しておりますが、 場へ送り出しその反響調 京 ご使用者のご諒解 谷

害防止法案の成立を見ま れました。ところが、幸い ような破目になるのではな は自分の首を自分で締める 致します。それだけに、こ まったような深刻な感じが ない宿命に追い込まれてし 昨年末の臨時議会に於て公 て置かれたら、やがて人間 の問題をこのまま放り出し いかとつくづく考えさせら ましたなら幸いと存じま に既製品の改造と新製品 理解あるご支援の下に更 ります。今後は皆様のご 端に寄与することが出来 かなりとも公害防止の一 の開発とにより、 いことを遺憾に存じてお を取付けるまでに至らな 本年はわが社にとり いちさ

ます。

に有難く厚く御礼申し上げ

方ならぬご贔屓に預り、 うございます。

誠

明けまして新年おめでと

され、

昨年中は一

を博した万国博も嵐の様に

全国的に素晴らしい人気

過ぎ去って、

早やくる七十

年の新らしい年を迎える

11月26日 (木) 上棟式を挙ぐ

エ

工場の建築工事は、 司祭のもとに上棟式を挙行 けて、 した。 司とそのご子息義平神官の 小雨に備えて三個所にテン 来上った工場内に折からの十分よりすっかり骨組の出 トを張りその中に祭壇を設 二十六日(木)午後一時三 着々と進行し、 田島宮司は、 場の建築工事は、その後知らせした我が社館林新 尾曳稲荷社の田島宮 当年取って 去る十

発行所 東京都千代田区猿楽町 1-4-3

番 101番 便 号 年4回発行

月号の三笠ニュ

(裏側より見た工場全景、向って左端倉庫、右端の別棟は大食堂)



中央に倉庫を

建設したT字」せなことである。

型の筈だった

が、それが今

(京谷社長の

工場ではある。

最初の設計

まった。成るほどずでかい容にすっかり驚かされてし

じていたが、 どんなことに

した骨組みを眼のあたり見|端計画通り進んでおり、

向って左端の別棟は大食堂

(表側より見た工場全景、中央の二階建物は事務所、 ある。 致しましょう。

大の創立記念日として な事のないよう進んで受けて、爾来この日をわが 今年は、全社員がこのようで、爾来この日をわが 今年は、全社員がこのようで、アストにである。 来ても業務が効率的に進ませなことである。 来た関係で、館林工場てくれたので、 しの仕事だけに相当頭 ようでいて、待ったな 者としても、 れてあるだけに、施工 2 地鎮祭の時に四月八日 も同じようにと、既にであった。この予防接種に いう落成日が決めらることが出来たら幸で やり易い

る。

炭記

より流感の被害から免がれ

大変効果的

を楽しみに待つことに を痛めているようでも では、 花の四月八日

宴が催され 気靄々の裡に過した。 えて歓談の 達も加わって盛大な祝 長以下、本社、 き、当社側から京谷社 幹部等を一柳 び施工者石橋建設側の この前の地鎮祭に来た時 引続き来賓の方々及 春日部工 と時を和 同膝を交 場の幹部 閣に招 館林工

んなところへ工場を建てて|とである。早くそうなっては、茫々たる草野原で、こ|分で飛んで来られるとのこ 今日の堂々と なるのかと案一欲しいものである。 今までのところ諸工事万 から

て、見違えるようなその偉一笠の80型タンピングランマ Eを という いが、この上もない仕合わ したり、又無理に出勤してだと本工場の いが、この上もない仕合わ したり、又無理に出勤して。 いのお蔭というわけでもな にわたって休む社員が続出 とも、お稲荷さんのおはら、痛、腰痛をうったえ、 ーのように無事故であるこ 半が高熱に 長期

れ、わが社に於いても館で集団欠席となって現わ その煽りを喰って社員の大 林れ 予防接種風景) 春日部両工場、 本社と

長から「上棟の日に雨が降 り御神酒で乾杯し、京谷社 加藤笠友会々長の音頭によ

古式豊かな木造りに聞き惚

姿を頭にえがきながら

散会した。

産業館林新工場の晴れ 上げ、やがて成る三笠

って、

職方三十数名による

藤理事長のお祝の言葉があ との挨拶があり、続いて ようお願い申し上げます」

ーのためほど

ライヴァ

のためほどほどに切

はあるが参列

者の殆んどが

いて祝宴

うのが通例で

表者の方々が玉串を奉奠さ

引き続き同席に於いて

無事に式典を終了し

の中を厳かに社長始め各代

に於かれましても、

一層のご支援を賜わります

にも一

段と力がこもり、

そ

た。従ってこのような雰囲

職方連の木遣り) となった訳だが、昨年も猛 とくとになっているので、いと言うことで接種の運び となった訳だが、昨年も猛び となった訳だが、昨年も猛 といった。 大変見 学校、 団予防接種をうけ 社員のイ 何しろインフルエンザ ンフルエンザ がり、 職場にまでも、くま

0

員全員インフルエンザの フルエンザの集 室に於いて社 まねきして、 十日の両日、 月十三日と一 会の田島病院 生サービス協 両国の労働衛 行性感冒にそ より先生をお なえて、十 を悩ませる流 なると、世 毎年冬期に

気の中での田島宮司の祝詞 ないようお祈りしてやみま 的な上棟式になってしまっ。私共はひたすらこの工事にに達し、簡素どころか本格。ることと信じております。 が参列して、総勢六十余名一くつつがなく立派に竣工す 長、同 あるかもしれません。その理事で、本日のこの雨は、わが来賓とい伝えられておりますの えだきっる皆様に間違いの 私共はひたすらこの工事に せん。どうかご来賓の皆様 司ご父子の心をこめた熱意 皆様がお揃い下さったお蔭 日頃ご精進のよろしい とりわけ田島宮 今後共 おそら 縦貫道が開通すると、館林 好条件をそ なえてい

空地が出来て、将来のう一棟工場を建てても 歩三分というまことに のある角地で、 た。この工場は、工業 設計替えだと感心し 出来たのは大変賢明な増築にそなえることの 2キロ、バス停から徒 り、館林駅西口から約 透しのよい 場所であ 団地中の東と北に道路

各代表の方々を始め石橋建 旋管社長、福岡製作所長等 じく大島館林支店次長、 銀行川上池袋支店次長、 長、同じく加藤次長 して遠藤館林信用

滕笠友会々長、

田口中央螺

でもあり、

当責任者並に職方三十数名。これからの工事も、 設の小林専務以下各現場担一あふるるお祓いによって、

> (田島宮司 祝詞奏上)

れぞれの幹部の他、

来賓と

(松下記) 笠産業 提供 くか

たため、

本工

場の裏側にも

上字型になっ 平工場の右端

に連設され

見ると倉庫

M D R-11型

タブルバイブ レーション

アワーステアリング



アリングを考案しました。 ル社独特の油圧式パワーステ に 生 かん は、その後研究に研 が ましては、その後研究に研 が ましては、その後研究に研 が の方向を変えることの出 車の運転操作と同じ要領 刀で方向を変えてやらなけ 人では操作が容易であり ばならないので、力の の装置は、 ハンドルにより、 であり

にて、車輪が地上から離れまきく接地するだけでハンドルが切れるようになっていまかいでには、座席前のリリーフバルブを開けると油圧が抜けて、すくりであると油圧が抜けると油圧が抜けると油圧が抜けると油圧がある。この場合、軽り接地します。この場合、軽り接地します。この場合、軽り と油圧ポンプが いる油圧レバ ンクに いる最後部に設置され が押し下げられて 一ルの下について の場合、軽いる車輪が 働き油圧シ を数回引く

帯に於いて方向転換する場 積み降ろし等の 部に設置されたいは運搬車への

只一つの欠点とも

紙性に難があり、

ダブルバイブレーわが社のバー:



版体の寸法

ローラーの寸法 重 全装備重量 自 走 速 度 登 坂 能 カ

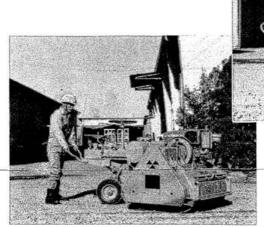
振 動 数 遠 心 カ 圧能 カ 水タンクの容量 使用エンジン

高さ 1120 % 巾 1020 % 長さ 2950 % 径 508% 巾 800 % 1000 kg 1,040 kg 1.3 Km/h (前後進共)

前輪 3,200, 後輪 2,600 (毎分)

1,800kg (1軸) × 2 9~10ton

三菱M11-31A水冷ディーゼル 常用出力8PS 最大出力11PS 2, 200r. p. m



上は搭乗したときのステアリング操作 下は歩行しながらのステアリング地上操作

ことなく快適な作業が出来

又乗り降りに便利

伝わらないので、

レー

ので、疲労するイでいますか

運転の座椅子は

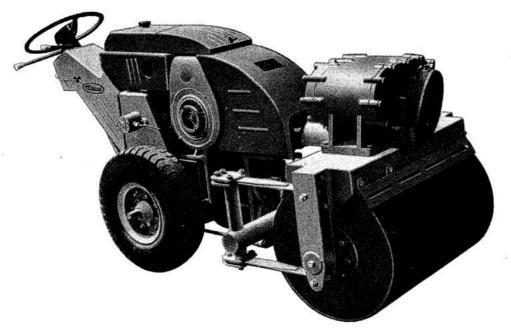
いますい

本 機 9 特

- 高速微振動の両振動である から輾圧能力が抜群である。 両輪駆動だからノリ面も軟
- 弱路盤も簡単に入り込める。 散水装置が完備しているか らアスファルト仕上げが極め て平滑美麗である。
- サイド輾圧や危険な路肩の 輾圧に最適である。
- 搭乗操作も出来るし、地上 操作も出来て、しかも指一本 で軽くローラーの方向が変え られる油圧式パワーステアリ ングが装置されている。
- 本機の傾角運転は25度まで
- 可能である。) サイドブレーキがついてい る。
- エンジンは静かで始動は一 発、力は抜群である。

(9) 防振対策には万全を期して ある。





振動数重

遠心力

九五〇—一一〇〇 (毎分)

場へ送り込むことが出来、ここに見事三千台・ 々様のご贔屓の賜物と衷心 地の代理店並びに需要家皆 本機は改め タンピン グランマー、

クランマー、 独特の強力な上下振動方式 倍加され、大きな輾圧力のハイブレータ ウエイトを加算して、弊社 によって、機体の遠心力が て申し上ぐる。ランスをあらゆる角度から、れた起振体と、ローラーを等の振動力と輾圧力とのバーちローラーの上部に設置さ ヘクター等よ によるインパクトローラー 出るように工作されている 弊社技術陣が |検討し、これにローラーの |支持する板バネとの同調力

た結果、これ てその特異な振動方式は即 は、素晴らしい効果を挙げの経験と幾多 を完成したものです。従っ もので、その用途によって 持っています。 った方には、記念品を差上 ささか謝恩の意味も含めま おります皆様方に対し、 格別のご贔屓をいただいて 是非本年も本機をご採用下 けたいと思っております。 新春を迎うるに当り、平素 して、本機をお買上げ下さ 弊社はここに七十一年の

破記念

燃料消費量

使用エンジン 万向転換 四·五M 常用出力五PS 最大出力七PS ロビンKB31=B型 (每分)前後進共 高速三五M · 以 l/h

速登坂能力

一五度

輾圧力 八一一○ton

一三五〇一一八〇〇㎏

機体の寸法 本機の仕様 長巾高さ さ 九四五%

ラーの寸法

11100%

巾径

さるようお願い申し上げま

を新たにしている

責任を痛感し認識

としてその

で我社は従来の機 わけである。そこ

> 間を構えていたのには頼も ど平でも有数な代理店が小 (株)、そして諸橋金物店な

のお社は売物ですかとた の御本体がなくては、どう出したのです。そこでこ がお社は買ったものの肝心れになっているお社を見 買求めたわけです。ところ

るとふとそこに挨りまみ|他の机や椅子などと一緒に

しく感じられ

二谷鋼業仙台営業所と力を

特に諸橋金物店に於ては

(タンピングラ

バイブロ

コンパクター、

等

列して戴いた。その主な製しなどで手に入れたかとましたが、お稲荷さんとい合わせて三笠製品を多数陳して

いうので、一体このお社。さんにしようとは思っていは、お売りしてもよいとことだから前々からお稲荷 ずねますと道具屋の主人|にもならないので、工場の 度から早急に解決諸問題が色々な角

る現在、これらの

が社会的に大きく

げられてい

されなくてはなら

だけ他と比べて人の集まり

と、最初東京板橋に工場されていては、お社の中の

什器具を買|神様もさぞ浮かばれないだ

ろうと思って、

いくらだっ

うになったかと申します

売り店が多数出ておりそこ

の多かったのには苦笑せざ

るを得なかった。

会場には中道 山一産業

道具屋を訪ねました。

す

たか価格は忘れましたが、

付けたいと思い、近くの

を設けた時、

機械産業(株)、

るようであった。 ない時期に来てい

我三笠産業も人

型化、複雜化、

減などの問題であった。さ|も油圧駆動による動力方式|

は騒音、塵埃等の問題に大

工事費の削 8型バイルハンマーに於て

として出品した、MOH=

そしてもら一つの新製品

らに工事につきものの、

音、振動、塵埃等の公害問題|きな指標を示した機械とし

を熱心に見る参観者

木などの中で面白く思った

であった。綿飴、置物、植

のは「でこ市」と呼ばれて

いた古着だとか普段着の安

ます。どうしてわが社で

のよいお社でもなさそうに

いうことでした。余り縁起

豊川稲荷をお祀りするよ。思いましたが、それにして

も、こんなところに放り出

お社です。

川稲荷をお祀りしており

であっての目というとこく少数して、自じはそれに比べるとごく少数して、自じが社では、

に、館林工場、

場はそれぞれ玄関脇に豊一売り払ってしまったのだと

春日部工 木屋が没落してお社までも

れていたものだが、その材

でおり機械関係の展示小間 な感じの店がずらりと列ん 祭りに出ている露店のよう 展示会というより何かのお

午がやって参ります。

は深川 聞いて見ます

の或る材木屋に祀らしよく知っているから、直ぐ

にでも出かけて行ってお札

すと、朱塗のお社の中で、

京都の伏見稲荷へ詣でま

のりとをあげて呉れますの

かお詣りしたことがあってが、豊川さんなら私も幾度

が、豊川さんならまっきこと。 来な、とうと今は亡くなった村松専務 々日本人には欠くことの出しと今は亡くなった村松専務 マ日本人には欠くことの出し

りで扨てどれにしたものかっても、伏見あり、豊川あ

尼真天と呼んで、何れも吾す。この神を仏教では吒枳

本社は屋上

今年も又二月二日に初

ばれた事は、労働力の不足、 特に今回の開催に当りさけ

うというのが目的である。

る。

と新機種の開発に役立てよ|見られない行届

が施されている わけ で あ 行なわれていた文化祭に足見られない行届 い た 工作 民会館前広場の青空の下で

日

 \pm

わき市

を踏み入れた。

近づく

初午祭に寄せて

実際見て歩くとまったく

賃金の高騰、事業規模の大

名 古 設 機

展

шиний

た。 ク生物が高くなっても、 一つ生物が高くなっても、

機械を前面に世

出したもので一て、

み機、

糸鋸盤、

動工具、作業し、

ベカマ類のスーパー市場へ 業者の内、或る業者さんはいて旧来取扱われていたナ の状勢が変って、これ等のひとつは、金物店市場にお のでしたがその後、世の中

木工機械や電

ならべられて

た。展示

の移行と、

これに伴うこれ

重機械へ或業者さんは仮設

資材へと移行して行かれた

会、見本市と

工具などがところせましと

た特殊機械であるがごとく

前までは家庭用品とは異っ

園一帯を会場に 開催 され ンローラーはこの機械の能間、名古屋市港区の稲永公 11型ダブルバイブレーショ日より二十日ま で の 六 日 今年度の新製品のMDR=設機械展示会」が十月十五 なくすべく考案中であり、 支部主催による「第七回建 日本建設機械化協会中部於ても、 名 古 屋 市 港 区 稲日本建設機械化協会 屋設 騒音、 振動を出来るだけ少 これらにまつわる 永 公園部

来たようである。今後我々一六四社、期間中の入場者三

メーカー

としては、只単に

万余人を数え、特に後半は

静

岡

建

設

機

共にそれまでの

真空期間で

ングランマーに関しては、

に、金物屋が入り込んで来 んが、留守をしている間 いうならば従来の機械屋さ せたわけではなく、敢えて

っくりと展|他社のランマーに比べて故|たというところでしょ

年末年始の商戦に備えると|る。特に保障書付のタンピ

着いてきた時期でもあり、

各種の行事が の見本市、招行 の最大のねら

一段落して落 バイブレーター等が注目の付会といった ッター、軽便41型内外兼用

的となっているわけであ

は、小売店 8型ハンドコンクリートカ

たようである。これは決し て行くようになってしまっ 時しか金物店の方へと流れ ため、この部門の販売は何

てメーカーがこのようにさ

示品を検討して もあるので、

貰えるし、

障の少ないこと、価格の乱

アフターサー

シャ降りの雨で、

客足を心

当日はあいにく朝からド

多少了した。

小

主期催間

自十一月十四日 静岡県、

静岡市大岩、

旧静岡大学グランド

ないものとして認識されて や子供が使用しても問題の

のということで家庭で主婦。出来たことは、我々としてを見ておくのも大きな経験

成功であったといえよう。

であり私は私なりにいろい

ろと教えらるるものがあっ

今回の展示会の出品会社

年に開催されるもので、 同展示会は中部管内で隔|とはもちろんであるが、さ らに騒音、又はオペレータ ーに与える振動について、 力、安定性が第一であるこ 機械を作ってそれを売ると | 天候にも恵まれ盛況裡に終 いうことだけでなく、

建設機械の啓蒙、普及、改良一この種の機械では他に類を の展示会でも同様であるが

古屋展示会場の 一角 に 一 際 彩を放つ三笠の展示コマ全景



場主開催 所催日

=80型タンピングラ 品は (錐振3PS型 錐振60型F

などで、 は大変心強かった。 来の展示会とは少し お力添えを戴けたの けて来られ、多大な

ゆるネームバリューローラー、

内容が違っており、 セット) ・ わき市民会館 ・ わき 市

エンジン盤、MTR 今迄は、自動車ショーと併 リートカッター、 三谷鋼業仙|各ユーザー関係の人達が多|ター、 今回は、別に建設機械展の 催して行なわれていたが、 いて華々しく開催された。の他、MCD=3型コンク 三日間旧静大グランドに於。=80型タンピングランマー 設機械展は、十四日より 記録を保持しているMTR

三笠のために駆けつ 連日大童であった。 が、やはり、何んといっての営業員、古作氏が 質問やら実演などで我々は 品を展示したわけ だっ た台から同社生え抜き くめだち、大分突っこんだ イブレーター等三笠の全製 今回の展示会は、この東も新製品のダブルバイブレ

新製品であるMDR= ション

の展示会とは少しったもので、出品機種は、「まち人の倫子でき、 モギーの展示会とは少しったもので、出品機種は、「まち人の倫子でき、 たち今回の展示会は従 の一画に展示、実演を行な この実演を行なうと、たちた文の強かった。 店である片岡屋さんの小間 ハンマーに人気があって、た 大変心強かった。 海地区に於いて永年の代理 ーションローラーとバイル・オーネターの MOH=8型パーに関しては、他社の同種、秋の個人見本市を開催し、

みの為か直接御使用下さる|型ハンドコンクリートカッ コンパクター、MHC=8 錐振型、標準型各六 M H C H 8 M V C |

頗る好評を博した。ローラ早の質問を浴びせられて、

して、 秋松本工 個機(株) 見

本

場日所時 会場 同社隣接芝信用金庫ビル三階 東京都千代田区神田須田町一一二六 昭和四十五年十一月二十日

展示会場に、 用金庫ビル三階大ホールを 月二十日、 同社隣接の芝信 第三十五回、 具をはじめ、 ナ、カナズチなどの大工道入れに意欲を 品であるノコギリ、 場内に 丸鋸盤、 旧来の扱い商 カ

松本工機(株)では十一 た。

伏見あり、豊川あ」。この神を仏教では吒沢 豊川稲荷は、今から凡そ ます。 というところから帰国の途 米ない米づくりの神であり法修業を終えて、中国の宋 り、この布教を禅師に托さ 中、海上に吒枳尼真天が稲 厳義戸禅士という方が、仏 五百年ほど前、妙厳寺の寒 穂を荷い白狐に跨って天降 今から凡そ 時も白狐が控えて 角のるようである。 ながち白狐に限ったわけで 狐なども飾ってあって、 いろいろなまじ もないようです。 なことが流行し いう霊媒とか催眠術のよう せよ、昔はキツ もっとも近頃では金 ネを使った 何れにも いるわけ あ

近頃は東京でもお稲荷|抜苦与楽の善神として広く る人が少な|崇仰の的となったもので、 て世間を騒 ないや今の|正一位を賜わって、 るもっと 昔江戸の たところ 音よりも、 験を現し、 位の神階を授けられ、また この寺の本尊である千手観 けたということですから、 て幾星霜を経て、 至っているわけです。 天慶五年(九四二年)には 長四年(八二七年)に従五 豊川稲荷はこのようにし 諸民に福徳を授 幾多の霊 ています。

いうこと|家康等の武将を始めとし、 戦国時代は、今川義元、 豊臣秀吉、 寧ろ吒枳尼真天 年に一回の初午の日をお稲 すので、何時も心ひそか めであると考えておりま 面の都合で次の機会にゆず **台い逸話もありますが、紙稲荷に就いていろいろと面** にこのことをお願いし、 災を願うことを、当然の勤 発展と社員の方々の無事息 ることに致します。ただ私 白い逸話もありますが、 としては常に、会社の隆昌

最後にこのたびの展示会、良い勉強になった。 ことで"今後はこ ング式を展示した

作業運搬が

せて個人見本市を行なうそピングランマー・MHC=

テンポ遅らる弊社のMTR=80型タン

が、それをワ

に毎年九~十月が最盛期だ一ン商品として取り上げられ

, うと全国的 からの同市場におけるメイ

ること、危険の絶対ないもの一端をこの展示会に発表 しかしこういった展示会 々の御発展をお祈のりして扱い易さとコンパクトであ の意味に於てわが社の方針 じられた。 申し上げると共に、今後増見られていたが、今やその すべきではなかろうか。こ 出しているように私には感 所に対して心から厚くお礼 建設機械はついニ~三年しても、安全で騒音が少な。市民にはこういうものが必に際し三笠のために多大な。の性能が或程度低下したとはなく、現るのいわき市の。最後にこのたびの展示会 くて、故障の起らない、誰で一要なのだということをあら一ご支援を戴いた諸橋金物店 容易に使える機械を出|ゆる層の人々を対照に打ち|はじめ、三谷鋼業仙台営業 やみません。 営業部・東販一課 械 至十一 (松原 月十六日

静岡県建設機械化振興会

品社三十社より大|商談もでき、そ の展示場には、 関心を高めた。 容易で油圧駆動の 多かった。 れば、と言う声が の式のものでなけ の利点がわかって 為故障が少ない等 かも強力振動であ は、小型軽量でし このように、 ただけて非常に パイルハンマー

第十五回を迎えた静岡建 イルハンマーと現在無事故|囲が広くなるし、又登坂能 る。従来このタイプは、ハ 礼を申し述べておきます。く、魅力的だったようであ 片岡屋さんの皆様に厚くおの違いなど優れ た 点 が 多 かと格別なご助力を賜った ンドガイド式が多いのに対 力、輾圧能力、起振方式等 きいので、それだけ作業範 常に効果的で大成功をおさ 類のものと比べて機体が大|小各種の機械が展示され非 めた。 営業部 最後に、諸準備その他何 (鈴木)

策として、 わりの激しい世

1代への対応|ビスの完備、

から新 認識していただいて熱心な こ吹く風と午前十時の開場

利益率などを一配したが、そんな心配もど

来場者から新商品として大一時から続々と来場者がつめ

きな期待をよせらかけ、流石は松本工機さん

てみたい」といった。会場は終始社長さん

「さっそく売だとすっかり敬服してしま

の上移り変れのない点、

製品が出さ

いう要望が強っ って伝統的なご商。対し深く謝意を表わすと共おられるからであ。た三谷劉業(株)の藤島様に 感服させられた。 売の強味には深く だけたのは嬉しか一接を賜わったことを深く感ころを見せていた一に進められ、絶大なるご支 買意欲の旺盛なと|ご努力とによってスムーズ **う声が聞かれ、購以下社員の皆様のご自信と**

チリと把握して|や、

格別ご協力に預りまし

た得意先」をガ 意見を賜りましたお客様方

「固定」をご参集下され、貴重なご

から、降りしきる冬雨の中

また関東各県

も松本工機さん

多くの

た。これという謝致します。

それといす|によって売捌かれていたも| す時でもあ は 従来 土木建築販売業者の手|進する所存でございます。 わが社の製品の多く と奉仕を忘れることなく精

メイン商品となるべく努力

K

皆々様の御期待下さる

し正統なお稲荷さんには天 たという話があります。然 で江戸中野犬がふえて困っ 今日に者をようしているとい 者をようしているといわれたず、現在全国幾百万の信 の息災を願う者その後を絶 士農工商の別を問わず、 られたとのことです。 また深くこれに帰依して居 々その道の繁栄と一家一族 各

わが社に於いても、

江戸時代に於いても、町奉 荷さんへの感謝の日 社員と共にお互の幸福

ったようです。

徳一行大岡越前守忠相や蘭学者

を祝福し合っているもの

て、

明治に入って

宮熾仁親王等も

がお社は買ったものの肝心をあるともいわれています。 生る」がいつしか「稲荷」 という伝説にもとずき「稲 となったとの説もありま をいただいて来るというこ タマノカミであるといわ 百科事典によるとウカノミ お祀りしてあるものがその 荷をお祀りすることになっ とで話が纒り、爾来豊川 (保食神)などと同一神で ミ、オオゲツヒメノカミ れ、またトヨウケヒメノカ たもので、現在館林工場に 保食神の腹中に稲生れり」ようです。 お稲荷さんの御本体は、 稲 か、仏様なのかと、とまどお稲荷さんは、神様なの と豊川稲荷の方は、お寺で う人もあると思います。 代を物語っているものと思 妙厳寺境内に大鳥井の聳え 神社に仏様が同居していて の時代であったためであっかしそれは、当時神仏混合 様のような気がして、一 持がしますが、そこえゆく で、 立っているのも、 も一向に不思議はなかった 寺で神をまつっても、 いかにも神様らしい感 今もなお豊川 そんな時 0) りを勤めている狐を白 お使い役としてお側のお守 野狐と呼び、お稲荷さんのの中にも一般の狐のことを 祀られているわけです。狐 と思う人が多いようです町家では門並なれたを祭っているのではないかくなりましたが、 とのことです。 神としてお祀りしたものだ。もあったようで して、これを妙厳寺の守護の稲荷として祭っ れたので、禅師は早速帰国がし、そのために野狐を村 さんのお社の両わきには何 いいます。ですからお稲荷 前述のような由来によって一の三大名物の一つに数えら た由緒あるお稲荷さんは、 が、豊川とか伏見とかいっ お稲荷さんというと、狐さんをお祀りす さん、 町家では門並お祀りしてい で、江戸の商人は片っ端か を殺してならぬ いわれた位の犬好きで、犬」渡辺華山、 川五代将軍綱吉は犬公方と|であり画家としても有名な れていたそうで 人は正直者だと たようで、伊勢屋、お稲荷一の方に人気が集まってしま 犬の糞といって江戸 を使い、 ということ す。伊勢の一織田信長、

9.20 水井部

カロヌカつ

始め取引銀行、

関係メー

の深いこの土地に営業所を|営業所建物 延八五八・○㎡

階会議室 階事務所

とい

八二、五元

敷地面積 新社屋内容 りしてやみません。 にご発展されることをお祈

六九三·〇m

テルパ

しと並んだ山

おります」とご挨拶され引寄与できれば幸いと存じてて、これからの地域開発に

のことばのあと自由なカ

つに引き続き地元秋田市長|すので、当社としてもご縁

祝賀会は、社長のあいさ

目は千葉県出身でもありま

- 、商社代表の方々のお祝|新設したわけでありま

調とは参会者の心を強く打

賜物と心から深く感謝申し にわたる皆々様のご支援の との出来ました事は、長年

上げる次第です。また二代

た。

と、情熱と気迫に満ちた口

つは、その若々しい態度 る所存です」とのごあいさ| 会への貢献のために研鑽す

けて七十七周年を迎えるこ

り機械工具を専門に扱い続

大きく飛躍するため、 乗り越え、さらに

企業

興して現在に至ったもので

MIKASA SANGYO NE W

綜合商社として、 中国地方の大手建設機

展し拡大させて行く所存でに、さらに努力を重ねて発

りよき明日を創造する為 ので、今日よりもっと、 一つのステップに過ぎな

同盛んな拍手を送り洋々た

あいさつがあり、 あります」との意欲的なご

参会者一

冬の十月三十一日大安吉日 の程見事落成したので、

ばしいことですが、これ 儀は私共に取って、

取引先、

と地元大手業者正田建設株

式会社の施工で一月中旬よ

あるものであり、

今日の盛 大変喜

続し発展させてこそ価値が

建設を進めていたが、

新ビルの建設を計画され、

地約四百平方メートル

河内建築設計事務所の設計

おろか日本国中にもその名名を招いて盛大な落成披露 年々急成長する事業の拡大 会社(社長末長等氏)では一宴を催した。 を知られている宝物産株式|と併せて創立二十周年の祝 に対処するため、 挨拶される末長社長) かねてか一末長社長のお人柄を反映し 同地方は の日を選んで、 パーティーは自由闊達な カー、 地元関係者三百余

まり、 ぐれた業績をたた 溢れんばかりに集 が会場にあてられ 客の殆んどの人々 自動的に開会され な式次第をはぶい た八階のファアに たが定刻には招待 か 午後一時から 宝物産のす 切形式的 和気あいあいのうちに時の る同社の前途を祝し合い、 かに祝宴は繰りひろげられ たつのも忘れていとも華や いった。 わが社からは 又大阪の三笠建機から

京谷

専務

員菅原繁氏)では、店秋田市大町六丁

於ける披露パーティー(アキタニューグランドに)

上げた。 今後のご発展をお祈り申し のことばをお伝えし併せて を始め社員の皆様にお祝 しく末長社長、 は、小野常務が参上して親 産ビルは、地下一階、 なお今回完成された宝物 百余名を招いて トルを越す堂々たるもの 松原副社長 地上 大な祝賀パ 元関係者等凡そ五 テルに取引先、 ニューグランド れを記念して、 年を迎えたのでこ 一月十九日アキ

り、

伊藤金太郎が機械商三河屋

り、

早速伊藤社長を始め幹

開催した。今年は会場にシ

二階を宝物れた華やかな会場 ーを催した。 花また花に飾ら

これを継いだ二代目伊藤真込まれて接待をされるかた

は機械工具販売とともにわら参会者から次々と祝福

ル」三十八階の中国料理「離」グも多少出て

はるかかな

階建「世界貿易センタービ

サイドトップのある四十

三金商店を創し、大正三年一部の方々はお客の中へ入り

しましたが、戦災によってるのを忘れて、

時中断されてしまいま

しかし戦後間もなく再一発展を祝った。

OH!



基町十二番八号に在った旧|成を祝うことの出来ますこ|ルに予定しているとのこと|を過ぎてなお矍鑠ら広島市内繁華街の中心地|十周年と併せて新ビルの落|産が使用し、他の階は貸ビ|には、満八十五才 末長社長から「本 日ここに、創立二 宴なかばにして | 八階総建坪三千五百平方メ で、その内一、

物産 立 2 0 周 年

社屋を取りこわし、 物所の設計 礼申し上げます。事業は永上ルに、みなさまの何時に変わらぬし、その敷とはこれ偏えにご臨席みなし、その敷とはこれ偏えにご臨席みな

落成した宝物産本社新社屋

三笠のメイン製品の数々が高一階ショールームには

た。

なっているとのことであっ

人の愛嬌あふれるホステス

振りに、参会者一同すっか

り打ちとけて、初冬の一日

会長、菅原社長にお祝いの

務が出席して、

親しく菅原

B

部

莲

展

た。わが社からは京谷専

包まれ、今までの菅長さん。これから益々のご発展をお

か

祈り申し上げた。

が春のような暖かな気分に一ことばをお伝えし、併せて

らの菅長さんのご活躍を祈 のご成功をたたえ、これ

金

所

成

興会の主催で、

十二月二

ッターを展示して、二日間

先づは、

荻本幹事長より

の短い会期ながら参観者の

興味をよんだ。

この産業展

本年の札幌出張所新設を始 本年の札幌出張所新設を始

座業展が、春日部市産業振

1,

H C

8型ハンドカ ピングランマ

世に眺められて実に素晴られて実に素晴ら

昭和四十五年度の春日部 | R=80型タン

主会催期

春日部産業振興 春日部体育館

会

十二月二日~

二月三日

海の珍味と定評ある秋田美

り午後四

時心を残して散会

である。

列され来訪者への宣伝と

1

れている合名会社菅長(本一喜びをかみしめておられる 地方に広くその名を親しま (挨拶される菅社長) 秋田県内はもちろん東北 ホテルにて

量の面持でじっとこの日の たる菅原長治会長の感憾無 まれた。それと昨 会者の目に刻み込 年社長に就任され お姿が印象深く参 たご子息菅原繁社

十年、その間数多 の連続であった五 栗以来苦難と激動 長のお言葉に一創

丸山所長と 落成した千



伊藤武男氏)で 千代田区神田淡 所(本社東京都 (株)三金製作

代に入り、これを|日野七〇九八)を新築開設 という大激動の時|多摩営業所(東京都日野市 の記念事業として、 は創業七十七周 年を迎えた本年 されたのにつづ さきに 続き来賓代表から「奥行き んは機械工具業界をはじめ のある専門商社とし三金さ いるMCD=3型コンクリ

時恰かも七〇年代 とが出来ました。 にまで成長するこ 共々の努力とによ

会長、従業員

所で催された。

三日の両日、

前記の場

しかった。

最後に、出

が比較的少な

かったのは淋しいた女子連も、どこからと

楚々と、もの静かにして

もなく調子づいて来た若い

係者や、販売

業者の入場者

りで、土木関宴会が始められた。

般の人ばか

その為入場者の大部分が

の姿をみせて 農業都市とし 賞した多くの

地元の春日部で生産して

る優良出品社 が開かれ、

に、市長から

社を始めとす一て次第に活気づき、次々に 品物の競売会 男子社員の歌声に乗せられ

運ばれる豪勢なご馳走に舌

トカッター、MVC=50

及び10型コンパクター

展示会を期待しながら幕を「昂然たる雰囲気にひたって感謝状が授与され、来年の「鼓を打ちながら、それぞれ

くの方々のご支援

り今日の「菅長」

治二十六年十二月一日初代 カー等関係者約百名を招い は事務所内に設けられた祭 目出度く十月十七日に地元 場で神官の祭事から始ま 市都町一三四)を開設し、 度千葉営業所(千葉県千葉) 伊藤社長の「当社は明 ザーを始め商社、 は独身者ばかりなので地元 私どもにとっても心強い のすばらしい伴侶を紹介し 為のお役に立ててほしい」 が開かれ「丸山所長のほか りである」との挨拶 用を博しておられたことは 電設配管業界にも不動の信 とユーモアな所員紹介があ ていただいて、 式後倉庫内にて披露宴 地元発展の から の他、 クにある時、 後六時三十分より忘年会を て忘年会にふ 和四十五年の締め の街は今、 わただし 十二月二十三日(水)午 走も半ばを渦 館林工場からもMT 閉じた。(東販二課福吉報)

1

力を充実し、もって地域社一ございます。父祖三代に渡一てお祝いを申し上げた。 鈑金機械の製造部門を拡張 をうけられ一同時間の過ぐ は星野営業部次長が出席し と改称されるとのご発表が り社名を「株式会社 三金 に同社は十一月二十一日よ ありました。今後益々盛大 裡に杯を重ねて同社のご 和気あいあ わが社から 更 七月着工。完 んだ。このビ の高さ一五〇 工費二百二十 月も要し、 成に二年七カ トル、 F, 建 n 総

るわけである。

場を作った事に意義を感じ を私達は今必要とし、この る

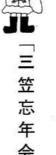
その場として、この会



-式の忘年会風景

クリスマスパーテ て、 どりの電灯の下でクリスマい雰囲気に包まれ、色とり の成果を期して散会した。 締により、 の顔が次第に紅潮して行っスのチョ帽をかぶった皆な **唄声も一段とはずんで来** やがて酔の廻るほどに、 会場は漸く忘年会らし 来たるべき明年 吉田常務の手

次号俳句募集 当季雜詠 1人 5 句以内 ハガキ又は便箋縦書 3月25日 紙切 用 社外からの投稿を歓迎する 評句のものには薄謝を呈す



字通り超高層 ルドが一杯に しい規模を誇 も東京国立競 技場のフィー ビルにふさわ なるという文

気ぜわ

て見学も含め さわしい会場 社は建設機械 る建物であ らの激しい競争の中を働きをたしかめ、そして明日か ら自分達の持つエネルギー ではあった。

る。

ここで我

メーカーとし

うならば「TODAY のフィ リングをコミュニケす の月

鐘止めど犬吠え止まず除夜 年を越す 病む日貰いしシクラメンと

の感じも充分うかがえる。 ところが仲々面白い。冬日

とうずくまっている。その 影を捉えて身近にと詠んだ (評) 冬の蠅が日向にじっ

かくして、おたがいに、こ 手買う

いとも満足そうであった。。ふくよかに笑うおかめの熊 入れぬ 花枇杷に乾かぬむつき取り

横浜 加藤京女

せまり来る師走の足音鮭届 紅葉せる一鉢残し菊始末 横浜 神吉 煙村

藁塚の雀に厳し今朝の霜 茅ヶ崎 川口きよい

専務の音頭で乾杯していと 笠産業社歌を合唱し、京谷

も賑やかにクリスマス風の

茅ヶ崎 硲 百合子

山霧は粗らしと旅の髪正す ゆずられし席車内の窓小春

だった為、会場中央には入とご自分に譬えてのご挨拶園芸農産地としての産業展とは年令忘れのことである を続けている大都市近郊の一、られ、京谷社長の年忘れ

会場中央には入しご自分に譬えてのご挨拶

農産物が並び|があり、

続いて全社員で三

ての春日部市

は、産業都市として、成長が当時を回想しながら、

横浜 村松みね代

述

かり 老工のしわに冬日のきびし

館林 穂 波 長谷川金雄 選

三笠産業俳句 all Marid Marid Marid Marie

の窓からの景色は正面の東

は出来なかったが、それで たまで一望に見渡たせる事

も地上一四○メートル当り